

***SUPER GREAT***

**AMB (衝突被害軽減ブレーキ) 装着車  
取り扱いについて**



mitsubishi FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

## AMB(衝突被害軽減ブレーキ)とは

前方車両との車間距離と相対速度をレーダーで監視し、衝突の危険性がある場合にはまず警報音を発報し、ドライバーに前方に障害物があることを知らせます。回避行動が行われない場合は、報知音とともに緩いブレーキで回避操作を促します。それでも回避操作が行われず衝突の可能性が高まり、すでに回避ができないと判断された場合には、報知音とともに強めのブレーキで衝突による被害を軽減します。

### 警告

AMB(衝突被害軽減ブレーキ)は車両を自動的に停止させたり、衝突事故を自動的に回避する装置ではありません。また、限界を超えた走行、停止を可能にしたり、居眠り運転やわき見運転を可能にする装置でもありません。走行するときは周囲の安全を確認し、十分な車間距離をとってください。衝突の危険性がないにもかかわらずAMBが作動(AMBブザー吹鳴)した場合は、ブレーキペダルを踏みブザーが消えるまで車速を落としてください。

## AMBの作動イメージ

ミリ波レーダーで捕捉している先行車との車間距離と、自車速度の相対速度を考慮し、衝突などの危険な状態に陥りそうな場合に、警報音を発報します。

	多重表示部	車間距離警報ブザー	AMB ブザー	ブレーキ作動
<b>A段階</b> (1次警報)		“ピー”の連続音	警報音 “ピッピッ”の断続音	なし
<b>B段階</b> (2次警報)		“ピー”の連続音	報知音 “ピー”の連続音	緩いブレーキが作動
<b>C段階</b>		“ピー”の連続音	報知音 “ピー”の連続音	強いブレーキが作動



**A段階(警報音)**  
ドライバーに対して警報音を発し衝突の危険性があることを知らせます。ここでの回避操作は非常に有効です。

**B段階(報知音 + 緩いブレーキ)**  
回避操作が行われない場合、報知音と緩いブレーキを介入します。ドライバーの適正な操作により回避の可能性は高くなります。

**C段階(報知音 + 強めのブレーキ)**  
衝突が避けられないと判断された場合、強めのブレーキを介入させて衝突速度を低減します。(完全制動はしません)

## ミリ波レーダー

前方車両との車間距離を測定するレーダーはフロントバンパー部ナンバープレート下に装着されています。



ミリ波レーダー

### 注意

レーダーまたはレーダーカバーに塗装したりレーダーの前方に物を取り付けたりしないでください。先行車との車間距離を計測できなくなり、正常に作動しなくなるおそれがあります。

## AMBの作動条件

次の条件を満たすとき、AMBは作動します。

- ・スタータースイッチが“ON”位置でかつ インジケータランプが消灯しているとき
- ・自車が15 km/h以上で走行しているとき
- ・前方の走行中または停止中の先行車との速度差が15 km/h以上あるとき


### MEMO

- ディスタンスウォーニングのブザーは、メータークラスターから聞こえます。AMBのブザーは、センターコンソール付近から聞こえます。
- ブレーキ作動時、ストップランプ(ブレーキランプ)は点灯します。
- ディスタンスウォーニングは車速が40 km/h以上になると作動し、35 km/h以下になると停止します。
- AMBカットオフスイッチを押し、AMBの機能を停止しても、エンジンを再始動すると自動的に作動(復帰)します。

## AMB使用上のご注意

- 以下の場合、衝突の危険性がなくてもAMBが作動する場合があります。  
AMBブザーが鳴ったらブレーキペダルを踏みブザーが消えるまで車速を落としてください。
  - ・ 走行中に先行車と急接近したとき
  - ・ カーブに進入するときに正面に障害物などがあるとき
  - ・ 高速道路などの料金所やETCゲートを通過するとき
  - ・ ガードレールや防音壁に近い所を走行するとき
  - ・ 狭いトンネル、鉄橋、高架橋、歩道橋等、道路を覆う構造体の下を走行するとき
  - ・ フェリー乗船時や船舶内を走行するとき
  - ・ 路面に電波を反射する金属物(マンホールや工事現場で路面に敷いている鉄板など)がある場所を走行するとき
- 以下の場合、AMBが作動しない場合があります。
  - ・ ハンドル操作をおこなっているとき
  - ・ アクセル操作をおこなっているとき
  - ・ 起伏などがある路面を走行しているとき
  - ・ 車両前方に急な飛び出しや急な割り込みがあったとき
  - ・ 悪天候下(大雨、吹雪、雪など)で、先行車を検知しにくいとき
  - ・ 先行車が路面の水や雪を巻き上げて走行しているとき
  - ・ 先行車が雪に覆われているとき
  - ・ 二輪車などの小さな車両が前方を走行しているとき
  - ・ レーダー前面に汚れや雪・氷などが付着しているとき
- タイヤサイズの変更は行わないでください。AMBが正しく作動しなくなる恐れがあります。
- 積荷は偏らないように積んでください。偏って積んだまま走行するとレーダーが前方の障害物などを正しく認識しないおそれがあります。

## ウォーニング表示

“AMBシステム異常”拡大表示後  が表示したときは、レーダーカバー部に汚れや雪・氷が付着しているか、AMBの故障が考えられます。また、ウォーニングランプも点灯します。安全な場所に停車し、次の点検を行います。

エンジンを一旦停止します。

レーダーカバー部に汚れや雪・氷が付着していないか点検します。付着しているときは清掃してください。

エンジンを再始動し、表示が消えれば異常ではありません。

表示が消灯しないときは、三菱ふそうサービス工場へ点検をお受けください。

